

観光

海洋性体験型観光拠点施設建設工事費

3500万円

**問** どのような施設を建設する予定か。

**水産商工課** 浦の浜海水浴場の管理棟およびトイレなどの隣に、40艇程度のシーカヤックが入る艇庫と研修室を備えた建物を建設する。

**問** 研修室をどのような用途に使用するかのご想定はあるか。

水産商工課

シーカヤックに伴う研修や海の体験などを予定している。今後、実際に運用する中で観光客の誘致などに生かせるような使い方をしていきたい。

**要望** 実際にシーカヤック関連や体験観光関連で動く方々の意見が大事になってくると思う。意見交換を密にし、使いやすく、観光客の誘致に結びつくような施設を造ってほしい。

医療

新生児聴覚検査費

102万円

**問** 新しい事業だと思いが、詳しい内容は。

**健康子ども課** 新生児が聴覚検査を受けたときに1万3860円を限度に補助するものである。

**問** 大事な検査だと思いが、周知はどのようにするのか。

**健康子ども課** 妊娠届提出時に案内を配布し勧奨したいと思う。

**要望** 案内の配布も良いと思うが、妊婦健診のときにも口頭で呼びかけると良いと思うので、検討をお願いしたい。

暮らし

結婚新生活サポート

補助金 312万円

**問** 以前質問したときには、所得制限があるという事だったが、活用状況はどうか。

**健康子ども課** 29年度の実績は3件あった。該当になる方には案内を送り、申請するように勧奨している。

**問** 3件の実績があったということだが、対象となるのは何件なのか。

健康子ども課

対象者については転入者もあり、所得条件などを調べられなかったが、広報などの結婚欄を見て事業の案内を送っている。所得の件に関しては申請者の所得証明書で判断している。

**要望** これは町として定住者を増やしたいということでも取り組んでいる。若い世代は使ったほうが良い。所得制限はあるが、分かりやすく説明して、できるだけ使えるようにしてほしい。



討論

《一般会計》

反対

木村洋子議員

被災事業者に無理を強いるような方策はやめるべき

当初予算には仮設施設撤去工事費4400万円が盛り込まれているが、資金問題などで本設店舗へ移行できずに悩んでいる事業者に対し7月末退去は無理があり、無謀である。仮設施設の入居期間を延長すべきである。私たちは東日本大震災で亡くなった人たちの思いをつなぎ、被災者が復興を成し遂げる支援をしていかなければならない。仮設施設退去を迫られている事業者は生業再生の困難さを訴えており、退去を急がせ無理を強いるような方策はやめるべきである。

※賛成討論なし

各会計の予算額と採決結果

会計名	30年度予算額	29年度予算額	増減(%)	採決結果	
一般会計	278億3587万円	359億5197万円	△22.6%	賛成多数	
特別会計	国民健康保険	23億3207万円	30億4952万円	△23.5%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億7042万円	1億6086万円	5.9%	〃
	介護保険(事業勘定)	18億3320万円	18億7492万円	△2.2%	〃
	介護保険(サービス事業勘定)	217万円	250万円	△13.2%	〃
	漁業集落排水処理事業	1億5989万円	1億4130万円	13.2%	〃
	公共下水道事業	4億6058万円	4億2610万円	8.1%	〃
水道事業会計	収益的支出	3億6576万円	3億6024万円	1.5%	〃
	資本的支出	9億4347万円	7億6840万円	22.8%	

※1万円未満切り捨て